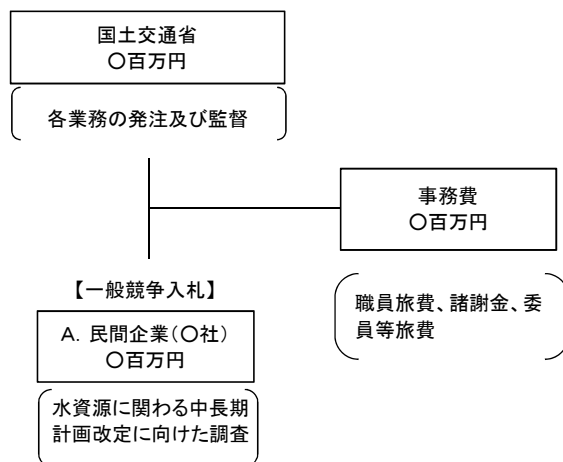


平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	水資源に関わる中長期計画(ウォータープラン)改定に向けた調査経費		担当部局庁	水管理・国土保全局 水資源部		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～		担当課室	水資源計画課		課長	海野 修司		
会計区分	一般会計		政策・施策名	2 良好な生活環境、自然環境の形成、バリアフリー社会の実現 6 水資源の確保、水源地域活性化等を推進する					
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	これまでの水資源政策は、増大する水需要に対し新たな水資源開発により供給量のキャッチアップを図ることを主眼に展開されてきたが、今後は、水インフラの老朽化、東日本大震災を踏まえた危機管理など水資源を取り巻く社会情勢の変化を踏まえ、総合的な水資源管理による、水を持続的に活用できる社会の実現と健全な水循環の再生を図る水資源政策が要請されている。このため、現行の「新しい全国総合水資源計画ウォータープラン21」(平成11年策定)を改定し、持続可能な水利用と健全な水循環の再生に向け、低炭素・循環型社会にも適応した、新たな水資源に関する中長期計画を策定する。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	現行のWP21で示された、水の需要量や供給量、水資源に関する施策の目標及び指針等についてレビューし、少子・高齢化と将来の人口減少、水インフラの老朽化、東日本大震災を踏まえた危機管理など水資源を取り巻く社会情勢の変化や今後の気候変動による水資源への影響など、現在及び将来の水資源の現状と課題を把握する。また、今後の水需給算定のために最新の知見や既往検討資料を収集する。								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		補正予算				10	10		
		繰越し等							
		計				10	10		
	執行額								
執行率(%)									
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値(28年度)	
	【多様な水源による都市用水の供給安定度】 (水源の多様性を、都市用水使用量に対する、管理しやすい水源(開発水、雨水・再生水等)によって担保された供給量の割合で表したもの)			成果実績	%	67	69	71	74(28年度)
				達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	新たな水資源に関する中長期計画			活動実績(当初見込み)	計画	-	-	-	-
単位当たりコスト	(円/)			算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	1	0	【諸謝金及び委員等旅費】					
	委員等旅費	1	0	新たな水資源に関する中長期計画策定に向けた検討会の非開催による皆減。					
	職員旅費	0.1	0.1	【水資源対策調査費】					
	水資源対策調査費	9	10	調査にかかる人件費の増額					
	計	10	10						

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	適切なものである	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		—		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	<p>・気候変動による渇水の頻発などの影響が懸念されることを踏まえ、今後の水資源政策を進めるにあたって、水量と水質、地表水と地下水・再生水等を包括的・一体的に捉えて、水資源を総合的にマネジメントするためには、平成11年度に策定された現行のウォータープラン21を改訂し、新たな水資源に関する中長期計画を策定する必要がある。</p> <p>・策定する計画は、全国及び地方の水資源に関する目標及び指針となるものであり、今後の全国の自治体で策定される計画に反映することから、国が実施する必要がある。</p>				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
<p>集中豪雨や渇水の激化等の気候変動に適切に対応しうる中長期計画の策定に資するよう、効果的・効率的な予算執行に努めるべき。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
<p>平成26年度概算要求では、少子・高齢化と将来の人口減少、水インフラの老朽化、今後の気候変動による水資源への影響など、水資源の現状と課題を踏まえた上で、今後の水資源・水利用のあり方及び施策検討、総合的な水管理計画の考え方及び具体的施策の調査検討を行い、水資源に関する新たな中長期計画の策定へ向けた検討を進める。</p>					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	-	平成23年	-	平成24年	2038

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
a					
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1-					
2-					
3-					
4-					
5-					
6-					
7-					
8-					
9-					
10-					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1-					
2-					
3-					
4-					
5-					
6-					
7-					
8-					
9-					
10-					